

社会医学講座

予防医学分野

著 書

- 1 Higaki Y, Mikami T, Fujii N, Hirshman MF, Koyama K, Seino T, Tanaka K, Goodyear LJ: Oxidative stress-stimulated glucose transport in skeletal muscle. In: Nose H, Joyner MJ, Miki K, eds. Exercise, Nutrition, and Environmental Stress. pp. 56-72, Cooper Publishing Group, LLC, Traverse City: USA 2005.
- 2 田中恵太郎：感染による慢性炎症とがんーウイルス性肝炎と肝臓がん。田島和雄監修，徳留信寛・古野純典・中地敬編：がん予防の最前線（下巻）ー最新の研究成果と予防戦略。pp. 138-144, 昭和堂，京都 2005.

学術論文

- 1 Hara M, Tanaka K, Hirota Y: Immune response to influenza vaccine in healthy adults and the elderly: association with nutritional status. *Vaccine* 23: 1457-1463, 2005.
- 2 *Inoue M, Tsuji I, Wakai K, Nagata C, Mizoue T, Tanaka K, Tsugane S, Research Group for the Development and Evaluation of Cancer Prevention Strategies in Japan: Evaluation based on systematic review of epidemiological evidence among Japanese populations: tobacco smoking and total cancer risk. *Jpn. J. Clin. Oncol.* 35: 404-411, 2005.
- 3 °Liu E, Kitajima S, Higaki Y, Morimoto M, Sun H, Watanabe T, Yamada N, Fan J: High lipoprotein lipase activity increases insulin sensitivity in transgenic rabbits. *Metabolism* 54 (1): 132-138, 2005.
- 4 °Oda K, Iwakiri R, Hara M, Watanabe K, Danjo A, Shimoda R, Kikkawa A, Ootani A, Sakata H, Tsunada S, Fujimoto K: Dysphagia associated with gastroesophageal reflux disease is improved by proton pump inhibitor. *Dig. Dis. Sci.* 50 (10): 1921-1926, 2005.
- 5 田中恵太郎，原めぐみ，坂本龍彦：地域高齢者におけるインフルエンザ予防接種の有効性に関する追跡研究：2003/04シーズン研究報告書。佐賀市医師会報 342, 8-10, 2005.
- 6 *Yoshioka M, Ayabe M, Yahiro T, Higuchi H, Higaki Y, St-Amand J, Miyazaki H, Yoshitake Y, Shindo M, Tanaka H: Long-period accelerometer monitoring shows the role of physical activity in overweight and obesity. *Int. J. Obesity* 29(5): 502-508, 2005

学会発表

- 1 Hara M, Sakamoto T, Higaki Y, Tanaka K: Dietary habits and risk of hepatocellular carcinoma: a case-control study in Japan. The XVIIth International Epidemiological Association World Congress of Epidemiology, 2005, 8, 24, Bangkok, Thailand. Abstracts p.292.
- 2 原めぐみ，坂本龍彦，田中恵太郎，廣田良夫：インフルエンザワクチン接種後の免疫応答に影響を及ぼす因子。第15回日本疫学会総会。2005, 1, 21. *J. Epidemiol. (Suppl.)* 15(1) : 159.
- 3 原めぐみ，坂本龍彦，田中恵太郎，廣田良夫：地域高齢者における有効性研究。第9回日本ワクチン学会学術総会（シンポジウム「インフルエンザワクチン」）。2005, 10, 15. 抄録集：37.
- 4 桧垣靖樹：ランナーのためのスポーツ飲料の科学ーアミノ酸飲料，抗酸化飲料ー。第17回ランニン

- グ学会 (シンポジウム). 2005, 4, 24. ランニング学研究 17:81-83.
- 5 桧垣靖樹: 身体活動・運動の定量化—実験研究から疫学研究まで—. 福岡大学国際シンポジウム, 「運動疫学の最先端とその戦略」. 2005, 5, 14.
 - 6 溝田理恵, 木村裕美, 千原明美, 桧垣靖樹, 田口尚人, 瀧本留美, 藤田義智, 野口治嗣, 前田勝子, 新地浩一: 要介護高齢者の介護予防に関する研究 —デイサービスにおける筋力向上トレーニングの効果—. 第10回日本老年看護学会学術集会. 2005, 11, 13. 抄録集 p.164.
 - 7 坂本龍彦, 原めぐみ, 桧垣靖樹, 堀田美加子, 田中恵太郎: 飲酒と肝細胞癌罹患リスク—ADH2・ALDH2 遺伝子多型との交互作用の検討—. 第15回日本疫学会総会. 2005, 1, 21. J. Epidemiol. (Suppl.) 15(1):65.
 - 8 坂本龍彦, 原めぐみ, 桧垣靖樹, 堀田美加子, 田中恵太郎: 肝細胞癌発生リスクにおける飲酒・喫煙習慣と OGG1 遺伝子多型の交互作用の検討. 第75回日本衛生学会総会. 2005, 3, 29. 日衛誌 60(2):293.
 - 9 Sakamoto T, Hara M, Higaki Y, Ichiba M, Horita M, Tanaka K: A case-control study on the interaction between alcohol intake and polymorphisms of alcohol and acetaldehyde dehydrogenase on hepatocellular carcinoma in a Japanese population. The XVIIth International Epidemiological Association World Congress of Epidemiology, 2005, 8, 23, Bangkok, Thailand. Abstracts p.146.
 - 10 田中恵太郎, 原めぐみ, 坂本龍彦, 桧垣靖樹: コーヒー飲用と肝細胞癌罹患リスクの関連. 第15回日本疫学会総会. 2005, 1, 22. J. Epidemiol. (Suppl.) 15(1):274.
 - 11 Tanaka K, Hara M, Sakamoto T, Higaki Y. Inverse association between coffee drinking and risk of hepatocellular carcinoma: a case-control study in Japan. The XVIIth International Epidemiological Association World Congress of Epidemiology, 2005, 8, 23 Bangkok, Thailand. Abstracts p.167.
 - 12 田中恵太郎, 原めぐみ, 庄野高子, 岩永真理子, 栗原寿子, 塚原里美, 田中恵利子: 佐賀市における肝癌対策としての HCV 抗体スクリーニングの評価. 第75回日本衛生学会総会. 2005, 3, 29. 日衛誌 60(2):274.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	田中恵太郎	平成17年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B)(2)	佐賀県における肝臓対策の評価と肝臓への進展因子に関する疫学的研究	4,400
教授	田中恵太郎	平成17年度文部科学省科学研究費補助金	特定領域研究(分担)	分子疫学コホート研究の支援に関する研究	17,000
教授	田中恵太郎	平成17年度厚生労働科学研究費補助金(分担)		生活習慣改善によるがん予防法の開発と評価	5,000
教授	田中恵太郎	平成17年度厚生労働科学研究費補助金(分担)		インフルエンザ予防接種のEBMに基づく政策評価に関する研究	1,398
助教授	桧垣 靖樹	平成17年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	酸化ストレスによる骨格筋の糖取り込み亢進メカニズムに関する研究	1,400
助教授	桧垣 靖樹	平成17年度厚生労働科学研究費補助金(分担)		健康づくりのための運動指針に関する研究—身体活動量増加による生活習慣病の一次予防効果—	1,900
助教授	桧垣 靖樹	平成17年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B)(分担)	体力の変化に影響を及ぼす遺伝子多型に関する研究	500
助手	松永(原)めぐみ	平成17年度文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	遺伝的感受性を考慮した慢性C型肝炎の進展を予防する生活習慣に関する分子疫学的研究	1,800
助手	松永(原)めぐみ	平成17年度佐賀大学中期計画実行経費		遺伝的感受性を考慮した慢性C型肝炎の進展を予防する生活習慣に関する分子疫学的研究	1,406

環境医学分野

著書

- 1 市場正良, 産業医活動のための参考書と職場巡視のための機器 かささぎ 12: 9-10, 2005.
- 2 弥富美奈子: 第63回全国産業安全衛生大会に参加して. かささぎ 10: 11-12, 2005.
- 3 友国勝麿: 7. 化学物質とその健康影響. 新改訂医療廃棄物の適正処理マニュアル—感染性廃棄物を中心に—(臨床病理レビュー特集第133号). 46-51, 臨床病理刊行会. 東京. 2005.

学術論文

- 1 °河村佳枝・甲斐今日子: 就労女性の妊娠期支援のための調査. 佐賀大学『佐賀大学文化教育学部研究論文集』第9集 第2号263-274, 2005

学会発表

- 1 市場正良, 松本明子, 堀田美加子, 近藤敏弘, 花岡知之, 小山倫浩, 川本俊弘, 友国勝麿. アルコールによる多環芳香族炭化水素 DNA 付加体形成への影響. 第75回日本衛生学会. 2005, 3, 29. 日衛誌. 60: 258
- 2 市場正良, 松本明子, 友国勝麿, 小川康恭, 毛利一平, 斉藤宏之, 平田 衛, 中田光紀, 北村文彦. 焼却炉作業者の多環芳香族炭化水素類曝露調査. 第78回日本産業衛生学会. 2005, 04, 22. 産衛誌: 臨増47.

- 3 *國安弘基, 市場正良, 大上直秀, 安井 弥, 大森 斉. 糖化修飾による HMGB1 の変化 第64回日本癌学会総会, 2005. 9. 14-16
- 4 松本明子, 市場正良, 堀田美加子, 武藤文博, 北川恭子, 一瀬豊日, 小山倫浩, 川本俊弘, 友国勝磨: ALDH2 遺伝子多型でアルコール性肝障害が緩和される可能性: 第75回日本衛生学会総会. 2005, 3, 27-30. 日衛誌. 60(2): 254
- 5 °中西祐子, 東原里美, 松永阿由美, 蒲池将史, 栗山純弥, 市川健太郎, 志風由佳, 篠原涼子, 市場正良, 宮島 徹: 佐賀環境フォーラムにおけるシックスクール問題への取り組み. 第14回日本臨床環境医学会. 2005, 7, 2. 臨床環境医学 14: 161
- 6 *大森 斉, 赤間芳彦, 市場正良, 大上直秀, 安井 弥, 國安弘基. 糖化修飾による HMGB1 の変化. 第94回日本病理学会総会, 2005. 4. 14-16
- 7 *Sasaki T, Ichiba M, Kuniyasu H. Inhibitory effect of linoleic acid on transformation of IEC6 intestinal cells by in vitro azoxymethane treatment 15th Hiroshima Cancer Seminar International Symposium, Hiroshima, 2005. 10. 30

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
助教授	市場 正良	平成17年度厚生労働省がん研究助成金(分担)		環境化学発がん物質の曝露評価法の開発及び疫学研究への応用による発がんリスク評価に関する研究	1,000
助手	松本 明子	平成17年度文部科学省研究費補助金	若手研究(B)	アルデヒド脱水素酵素2遺伝子多型が飲酒による肝薬物代謝酵素活性の変動に及ぼす影響(遺伝子改変マウスを用いた検討)	1,300
助教授	市場 正良	平成17年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成事業	室内気中微量揮発性有機化合物(VOC)の測定と評価	658

法医学分野

著書

- 1 Kibayashi K: Autopsy / infectious. In: Payne-James J, Byard RW, Corey TS, Henderson C (Eds): Encyclopedia of Forensic and Legal Medicine. 192-197. Elsevier. Oxford 2005.

学術論文

- 1 Kibayashi K, Shojo H, Sumida T: Dural hemorrhage of the tentorium on postmortem cranial computed tomographic scans in children. Forensic Sci. Int. 154: 206-209, 2005.
- 2 *Ng'walali PM, Kibayashi K, Mbonde MP, Harada S, Mwakagile D, Kitinya JN, Tusnenari S: Neuropathology of human immunodeficiency virus infection: a forensic autopsy study in Dar es Salaam, Tanzania. Forensic Sci. Int. 151: 133-138, 2005.
- 3 *Yonemitsu K, Koreeda A, Kibayashi K, Ng'walali PM, Mbonde MP, Kitinya JN, Tusnenari S: HPLC analysis of anti-malaria agent, chloroquine in blood and tissue from forensic autopsy cases in Tanzania. Legal Med. 7: 113-116, 2005.

学会発表

- 1 木林和彦：受診直後に破裂した小脳血管奇形の1剖検例。第13回法医病理勉強会。2005，4，20。
第13回法医病理勉強会口演抄録集：4-5。
- 2 猩々英紀，木林和彦：頭部外傷による脳内シナプトフィジンの変化と神経細胞・グリア細胞の関係。
第89次日本法医学会総会。2005，4，21。日法医誌，59：44。

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	木林 和彦	平成17年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B)	熱中症の脳内病態解析による法医神経病理学の展開	4,700
教授	木林 和彦	平成17年度文部科学省科学研究費補助金	萌芽研究	脳挫傷で特異的に発現する遺伝子の同定	700
教授	木林 和彦	平成16年度財団法人セコム科学技術振興財団研究助成		高齢者死亡事故予防のための事故発生現場環境の分析	1,000
教授	木林 和彦	平成16年度財団法人医療科学研究所研究助成		医療死亡事故における解剖の役割	500
教授	木林 和彦	平成16年度財団法人明治安田生命こころの健康財団研究助成		高齢者在宅医療における法律的課題への対応	500
教授	木林 和彦	平成17年度財団法人中山隼雄科学技術文化財団研究開発助成		遊び行動に伴う死亡事故の要因解析と予防	800
助手	猩々 英紀	平成17年度文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	頭部外傷によって発現が変動する遺伝子の網羅的解析	2,600
教授 助手	木林 和彦 猩々 英紀	平成17年度佐賀大学中期計画実行経費	基盤教育研究 実行経費	性犯罪被害者の医療に関する医学教育 (代表：木林和彦)	195

国際医療コミュニケーション科学分野

学術論文

- 1 *池田豊子，日高三郎：19世紀西欧の医師と権力とエチケットの役割の分析(2) 比較文化研究 68：31-38，2005。

学会発表

- 1 *Hisayo Sakumoto, Toyoko Ikeda: Study on Health of Egyptian Women—Indefinite Complaints and Subjective Symptoms. The 46th ICHPER Anniversary World Congress. 2005. 11, 9-13. Congress Proceedings: p 134

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	池田 豊子	平成17年度(前期)佐賀大学医学部学術国際交流基金による助成事業		医学英語教授法セミナー(エンジンバラ大学)	584 (旅費等)
教授	池田 豊子	平成17年度佐賀大学中期計画実行経費	基盤教育研究 実行経費	校舎講義棟2階(1201室)AV設備整備事業	2,842
助教授 講師 教務員	高野 吾朗 エドワーズベジミン 大坪 芳美	平成17年度佐賀大学中期計画実行経費	基盤教育研究 実行経費	校舎講義棟1階(1108室)印刷機器整備事業(代表:高野吾朗)	1,317